

1. 基本情報							
事務事業コード	01108000100020101	事務事業名	道路橋梁維持総務管理事務事業	担当部	建設部		
				担当課	建設施設管理課		
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり		グループ	道路管理グループ		
施策名	02	交通体系の充実		電話番号	45-5111		
基本事業名	01	道路ネットワークの構築及び道路施設の保全		内線番号	2766		
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 24 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	08 土木費			根拠法令・条例等		
	項	02 道路橋梁費					
	目	01 道路橋梁維持費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【公用車維持管理事務】
 ・道路維持管理事務事業及び公園管理事務事業を円滑に実施するために必要な公用車の維持管理を行う事務
 【国分駅東西自由通路エレベータ保守点検契約事務】
 ・市道東西自由通路線に設置されているエレベータ2基について保守点検を実施するための契約を行う事務

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 公用車の燃料	ℓ	16,216	14,121	17,442	13,397	13,397
イ エレベータ保守点検契約による定期点検の実施回数	回	4	4	4	4	4
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 課内の各種業務							
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 円滑に実施される							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 安全・快適に移動ができる							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島市経営健全化推進計画(第2次/改定版)(平成26年12月策定)において、持続可能な健全財政を確立するため歳出削減に関する取組を全庁的に推進する必要があるとされ、その中で、需用費や役務費については常にコストを意識し、不要不急な物品の購入や電気・電話・水道の浪費等を厳に慎むことで節減に努め、また、ランニングコスト削減に資する機器等の導入等を検討し、維持管理費の縮減に努めることとされている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円			0	0	0
	県支出金	千円			0	0	0
	地方債	千円			0	0	0
	その他	千円			5,976	490	490
	一般財源	千円			8,751	10,020	10,020
	事業費	千円	0	0	14,727	10,510	10,510

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【公用車維持管理事務】 ・公用車保有台数 35台 燃料費 2,781,855円 【国分駅東西自由通路エレベータ保守点検契約事務】 ・国分駅東西自由通路エレベータ保守点検業務委託委託料 1,680,648円</p>	<p>【公用車維持管理事務】 ・公用車の車検・修繕等を適正に実施することにより、課で所管する各事務事業を円滑に実施することができた。 【国分駅東西自由通路エレベータ保守点検契約事務】 ・国分駅東西自由通路エレベータ保守点検業務委託により、国分駅東西自由通路に設置されているエレベータ2基について安全に管理することができた。</p>

事務事業コード	0108020100020101	事務事業名	道路橋梁維持総務管理事務事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない		
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる		類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる		車両の年式が古く、相当な走行距離のため燃料費、修繕料等の経費がかさんでいる。順次車両の買い替えを進めていくことで燃料費、修繕料、保険料、公課費を抑制することが可能である。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	現在、必要最小限の人員で事務を行っており、削減は困難である。	
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)								
【参考】前年度の改革改善の方向性 <>								
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	車両を度々修繕に出すことは、各事務事業を円滑に実施する上で大きな影響を及ぼす。また、いつ壊れるかわからない車両を利用し続けることは、職員の安全確保の観点からも好ましくない。そこで年式が古く、走行距離の多い車両から順次買い替えを促進していく必要がある。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	引き続き、課で所管する各事務事業を円滑に実施するため、適正な公用車の維持管理を行っていく。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0108050401010601	事務事業名	公園管理事務事業	担当部	建設部		
				担当課	建設施設管理課		
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり		グループ	公園管理グループ		
施策名	01	生活基盤の充実		電話番号	45-5111		
基本事業名	06	公園・広場等の整備		内線番号	2891		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H18 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	08 土木費			根拠法令・条例等	霧島市普通公園の設置及び管理に関する条例	
	項	05 都市計画費					
	目	04 公園費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

天降川河川公園、地域管理でない普通公園(宮の杜ふれあい公園・臨空団地1～3号公園・下井地区運動公園・野久美田農村公園)及び浜之市地区に新たに設置されたくまの公園、八幡公園の管理について業務委託を行う。
市内の公園にある施設の簡易な修繕を行うとともに地域等から要望のある普通公園の剪定や指定管理公園で指定管理者が出来ない樹木管理作業を専門業者に委託する。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 管理委託や剪定等を行った公園数	箇所	33	42	34	35	35
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市民							
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 安心・安全・快適に利用できる。							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 憩いと交流の場が確保される。							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

公園管理者のアンケートにより、トイレの水洗浄や洋式への改修・遊具施設や便所の増設要望がある。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円			0	0	0
	県支出金	千円			4,000	5,164	5,164
	地方債	千円			0	0	0
	その他	千円			613	342	0
	一般財源	千円			13,407	11,504	11,846
	事業費	千円	0	0	18,020	17,010	17,010
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【管理業務委託】</p> <p>※単人等普通公園施設管理業務委託 2,790,000円</p> <p>※天降川ふるさとの川河川公園管理業務委託 4,273,000円</p> <p>※くまの公園管理業務委託 133,000円</p> <p>※八幡公園管理業務委託 83,000円</p> <p>※浄化槽維持管理業務委託 668,811円</p> <p>【樹木管理及び剪定等業務委託】</p> <p>※稲荷山公園管理業務委託 他15件 1,796,110円</p>	<p>適切な維持管理や景観を考慮した樹木管理により安心、安全、快適に利用できる公園としての機能が確保できた。</p>

事務事業コード	0108050401010601	事務事業名	公園管理事務事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	維持管理については、安心・安全で快適な利用ができるように必要最小限の事業費を計上しているので削減できない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	公園の現状を確認し委託業者との打合せや業務手続に最低限必要な業務であり削減は難しい。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○	○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	公園施設長寿命化計画に基づく施設の定期的な点検、調査を行い、今後行わなければならない改築・改修をより効率的に実施できるよう、計画を立案する。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	公園長寿命化計画に基づく施設の改築・改修を実施し、安全性を向上させる。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1)事務事業の改革改善方向性									
(2)総評									

事務事業 コード	0108050401010601	事務 事業名	公園管理事務事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

9. コストの推移

(単位:千円)	平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1 報 酬			
2 給 料			
3 職 員 手 当 等			
4 共 済 費			
5 災 害 補 償 費			
7 賃 金	954	990	990
8 報 償 費			
9 旅 費			
10 交 際 費			
11 需 用 費	6,125	4,189	4,189
消耗品費	413	60	60
燃 料 費			
食 糧 費			
印刷製本費			
光 熱 水 費	890	929	929
修 繕 料	4,822	3,200	3,200
贈 材 料 費			
飼 料 費			
医 薬 材 料 費			
12 役 務 費	205	218	218
通 信 運 搬 費			
広 告 料			
手 数 料	64	66	66
保 険 料	141	152	152
13 委 託 料	9,744	10,818	10,818
14 使用料及び賃借料	401	395	395
15 工 事 請 負 費			
16 原 材 料 費	399	400	400
17 公有財産購入費			
18 備 品 購 入 費			
19 負担金補助及び交付金	192		
20 扶 助 費			
21 貸 付 金			
22 補償補填及び賠償金			
23 償還金利息及び割引料			
24 投資及び出資金			
25 積 立 金			
26 寄 附 金			
27 公 課 費			
28 繰 出 金			
計	18,020	17,010	17,010
財源内訳	特定財源		
	国庫支出金	0	0
	県支出金	4,000	5,164
	地方債	0	0
	その他	613	342
一般財源	13,407	11,504	11,846
計	18,020	17,010	17,010
補助率	国		
	県	定額	
補助基本額			

平成26年度補正・流用状況

当初予算	16,074
補正予算	1,000
補正第3号	1,000
流用・充用	1,073
予算合計	18,147

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
その他	公園使用料	613
県支出金	河川公園管理業務費	4,000
合計	合計	4,613

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0108050401010602	事務事業名	都市公園管理事業	担当部	建設部		
				担当課	建設施設管理課		
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり		グループ	公園管理グループ		
施策名	01	生活基盤の充実		電話番号	45-5111		
基本事業名	06	公園・広場等の整備		内線番号	2871		
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H18 ~)			
	款	08 土木費		根拠法令・条例等	都市公園法及び霧島市都市公園条例		
	項	05 都市計画費					
	目	04 公園費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市の城山公園及び丸岡公園を除く都市公園について、指定管理者で運営・管理を行う。
 現在3指定管理者と協定締結している。
 ※国分都市公園指定管理(16公園) 指定管理者:一般財団法人 霧島市施設管理公社 指定期間:H22. 4. 1~H27. 3. 31
 ※隼人等都市公園指定管理(31公園) 指定管理者:公益社団法人 霧島市シルバー人材センター 指定期間:H23. 4. 1~H28. 3. 31
 ※広瀬地区コミュニティ広場(1公園) 指定管理者:一般財団法人 霧島市施設管理公社 指定期間:H24. 10. 10~H27. 3. 31

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 指定施設数	施設	48	48	48	48	51
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市民	人口	人	127,475	127,283	126,773	129,360	129,679
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 安心・安全・快適に利用できる。	利用アンケートによる「期待以上に良かった」「期待どおりだった」「まあまあだった」の割合	%	94.0	92.5	86.6	92.5	94.0
イ 安心・安全・快適に利用できる。	年間利用者	人	248,241	228,535	223,130	248,000	250,000
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 憩いと交流の場が確保される	身近な地域で公園・広場が整備されていると考える市民の割合	%	65.3	58.1	61.4	64.0	65.0
イ 憩いと交流の場が確保される	市民一人あたりの公園面積	m ²	10.5	10.6	10.6	9.1	9.1
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

公園設置年から相当数の年月が経ち、修繕、改修の対象となる公園が多く、修繕費などの経費が今後増加する懸念がある。
 最近グランドゴルフをされる方が増えて、コート内の維持管理について、芝の適正な管理などの要望がなされている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円			0	0	0
	県支出金	千円			0	0	0
	地方債	千円			0	0	0
	その他	千円			0	0	0
	一般財源	千円			37,057	37,267	37,267
	事業費	千円	0	0	37,057	37,267	37,267

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【指定管理料実績】</p> <p>※国分都市公園指定管理 19,152,000円 ※隼人等都市公園指定管理 16,804,286円 ※広瀬地区コミュニティ広場指定管理 1,100,571円</p>	<p>適切な維持管理や景観を考慮した樹木管理により安心、安全、快適に利用できる公園として機能が確保できた。</p>

事務事業コード	0108050401010602	事務事業名	都市公園管理事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	住民が安心、安全、快適に利用できることは、憩いと交流の場が確保されることにつながる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民の憩いの場である公園の安全性と利便性、機能確保のため指定管理者による公園としての環境確保、老朽化した施設の維持補修は、市民の身体的精神的な健康増進に寄与するため市が行うべきである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	これまでの管理運営実績を活かし、施設の安全確保や効率的な管理運営を更に進め、利用者のニーズに対応したサービスの向上や利用拡大に努める。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	廃止した場合、遊具の点検や除草・剪定等がなされず安心・安全・快適に利用できない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 都市公園の管理事業であるために類似の事業はない。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理料については、価格点を含めた総合的な基準で選定を行っているため、一定の削減は、図られている。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理者の選定手続き、打合せ、協定書の締結などを行っているが、指定管理者の適正な施設管理を確保するために、最低限必要な業務である。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業は全ての公園利用者に還元されており、公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	多くの施設が設置年より相当数経過しているので公園施設長寿命化計画に基づく施設の定期的な点検、調査を行い、今後行わなければならない改築・改修をより効率的に実施できるよう、計画を立案する。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	公園長寿命化計画に基づく施設の改築・改修を実施し、安全性を向上させる。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)																	
(1)事務事業の改革改善方向性	<table border="1"> <thead> <tr> <th>継続</th> <th>やり方改善</th> <th>コスト拡充</th> <th>コスト縮小</th> <th>連携</th> <th>統合</th> <th>休止</th> <th>廃止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止								
継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止										
(2)総評																	

事務事業コード 0108050401010602	事務事業名 都市公園管理事業	担当部 建設部
		担当課 建設施設管理課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
5	災害補償費			
7	賃金			
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費	0	0	0
	消耗品費			
	燃料費			
	食糧費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料			
	賄材料費			
	飼料費			
	医薬材料費			
12	役務費	0	0	0
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料			
	保険料			
13	委託料	37,057	37,067	37,067
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費			
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費		200	200
19	負担金補助及び交付金			
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利子及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
計		37,057	37,267	37,267
財源内訳	特定財源 国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
	一般財源	37,057	37,267	37,267
計		37,057	37,267	37,267
補助率		国		
		県		
補助基本額				

平成26年度補正・流用状況

当初予算	36,607
補正予算	0
流用・充用	450
予算合計	37,057

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
合計		0

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0108050401010603	事務事業名	城山公園管理事業	担当部	建設部		
				担当課	建設施設管理課		
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり		グループ	公園管理グループ		
施策名	01	生活基盤の充実		電話番号	45-5111		
基本事業名	06	公園・広場等の整備		内線番号	2891		
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H18 ~)			
	款	08 土木費		根拠法令・条例等	都市公園法及び霧島市都市公園条例		
	項	05 都市計画費					
	目	04 公園費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】
 城山公園(国分)は、昭和53年に開園し多種施設を兼ね備えた総合公園で、敷地面積は15万8594㎡で、展望台(6階建725㎡)、休憩室(180㎡)観覧車、ゴーカート場(全長1300m)、電気自動車場、パターゴルフ場、児童広場(3600㎡)芝広場、SL展示、駐車場(268台)などの施設があります。営業時間は、9時30分～18時(4月1日～10月31日)9時30分～17時(11月1日～3月31日) 月曜日(休業日)
 【指定管理者】
 きりしまPPP株式会社 指定管理期間 平成22年4月1日～平成27年3月31日

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 指定施設数	施設	1	1	1	1	1
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	6	4	4	4	4
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市民	人口	人	127,475	127,283	126,773	129,360	129,679
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 安心・安全・快適に利用できる。	利用アンケートによる「期待以上に良かった」「期待どおりだった」「まあまあだった」の割合	%	100	100	98.9	100.0	100.0
イ 安心・安全・快適に利用できる。	年間利用者	人	62,611	72,284	65,604	72,000	74,000
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 憩いと交流の場が確保される	身近な地域で公園・広場が整備されていると考える市民の割合	%	65.3	58.1	61.4	64.0	65.0
イ 憩いと交流の場が確保される	市民一人あたりの公園面積	㎡	10.5	10.6	10.6	9.1	9.1
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

トイレの水洗化やパターゴルフ場の改修またゴーカートの更新などの要望でわかるように、多くの施設が設置年より相当経過しているため、今後の対策が急務である。

4. 事業費の推移

単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
事業費 投入量	国庫支出金	千円		0	0	0
	県支出金	千円		0	0	0
	地方債	千円		0	0	0
	その他	千円		0	0	0
	一般財源	千円		21,557	24,907	18,952
	事業費	千円	0	0	21,557	24,907

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【指定管理料実績】 ※城山公園指定管理料 21,557,315円</p>	<p>適切な維持管理や景観を考慮した樹木管理により安心、安全、快適に利用できる公園として機能が確保できた。</p>

事務事業コード	0108050401010603	事務事業名	城山公園管理事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	住民が安心、安全、快適に利用できることは、憩いと交流の場が確保されることにつながる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民の憩いの場である公園の安全性と利便性、機能確保のため指定管理者による公園としての環境確保、老朽化した施設の維持補修は、市民の身体的精神的な健康増進に寄与するため市が行うべきである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	これまでの管理運営実績を活かし、施設の安全確保や効率的な管理運営を更に進め、利用者のニーズに対応したサービスの向上や利用拡大に努める。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	廃止した場合、遊具の点検や除草・剪定等がなされず安心・安全・快適に利用できない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 都市公園である城山公園の管理事業であるために類似の事業はない。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理料については、価格点を含めた総合的な基準で選定を行っているため、一定の削減は、図られている。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理者の選定手続き、打合せ、協定書の締結などを行っているが、指定管理者の適正な施設管理を確保するために、最低限必要な業務である。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業は全ての公園利用者に還元されており、公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	27年度において、観覧車の大規模な改修を行っている。公園施設長寿命化計画に基づく施設の定期的な点検、調査を行い、今後行わなければならない改築・改修をより効率的に実施できるよう、計画を立案する。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	公園長寿命化計画に基づく施設の改築・改修を実施し、安全性を向上させる。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)																	
(1)事務事業の改革改善方向性	<table border="1"> <thead> <tr> <th>継続</th> <th>やり方改善</th> <th>コスト拡充</th> <th>コスト縮小</th> <th>連携</th> <th>統合</th> <th>休止</th> <th>廃止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止								
継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止										
(2)総評																	

事務事業 コード	0108050401010603	事務 事業名	城山公園管理事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
5	災害補償費			
7	賃金			
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費	0	350	500
	消耗品費			
	燃料費			
	食糧費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料		350	500
	賄材料費			
	飼料費			
	医薬材料費			
12	役員費	0	0	0
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料			
	保険料			
13	委託料	21,557	21,369	18,452
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費			
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費		3,188	
19	負担金補助及び交付金			
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利息及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
計		21,557	24,907	18,952
財源内訳	特定財源			
	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
一般財源	21,557	24,907	18,952	
計		21,557	24,907	18,952
補助率	国			
	県			
補助基本額				

平成26年度補正・流用状況

当初予算	21,288
補正予算	0
流用・充用	270
予算合計	21,558

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
合計		0

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0108050401010604	事務事業名	丸岡公園管理事業	担当部	建設部	
				担当課	建設施設管理課	
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり		グループ	公園管理グループ	
施策名	01	生活基盤の充実		電話番号	45-5111	
基本事業名	06	公園・広場等の整備		内線番号	2891	
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H19 ~)		
	款	08 土木費		根拠法令・条例等 都市公園法及び霧島市都市公園条例		
	項	05 都市計画費				
	目	04 公園費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】
丸岡公園(国分)は、昭和43年に開園し多種施設を兼ね備えた総合公園で、敷地面積は27万2000㎡で、緑地公園、運動場、日本庭園、ゴーカート場(約1000m)スロープカー、遊具、バンガロー、売店の施設があります。また公園施設の他に園内には、農業交流センターや横川勤労者技術研修館が併設しております。公園施設の営業時間は、9時～117時 毎週火曜日(休業日)

【指定管理者】
きりしまPPP株式会社 指定管理期間 平成24年4月1日～平成29年3月31日

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 指定施設数	施設	1	1	1	1	1
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	10	10	11	11	11
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市民	人口	人	127,475	127,283	126,773	129,360	129,679
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 安心・安全・快適に利用できる。	利用アンケートによる「期待以上に良かった」「期待どおりだった」「まあまあだった」の割合	%	95.2	98.8	98.8	100.0	100.0
イ 安心・安全・快適に利用できる。	年間利用者	人	109,500	102,068	98,115	102,000	105,000
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 憩いと交流の場が確保される	身近な地域で公園・広場が整備されていると考える市民の割合	%	65.3	58.1	61.4	64.0	65.0
イ 憩いと交流の場が確保される	市民一人あたりの公園面積	㎡	10.5	10.6	10.6	9.1	9.1
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

丸岡公園は、設置年から相当経過しているため、各施設に不具合がでてきているので、維持修繕費等の増大が懸念される。また多くの桜が植えてあるが、病気が発生しておりその対策に苦慮している。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円			0	0	0
	県支出金	千円			0	0	0
	地方債	千円			0	0	0
	その他	千円			0	0	0
	一般財源	千円			10,790	11,183	13,613
投入量	事業費	千円	0	0	10,790	11,183	13,613

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【指定管理料実績】 ※丸岡公園指定管理料 10,789,714円</p>	<p>適切な維持管理や景観を考慮した樹木管理により安心、安全、快適に利用できる公園として機能が確保できた。</p>

事務事業コード	0108050401010604	事務事業名	丸岡公園管理事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	住民が安心、安全、快適に利用できることは、憩いと交流の場が確保されることにつながる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民の憩いの場である公園の安全性と利便性、機能確保のため指定管理者による公園としての環境確保、老朽化した施設の維持補修は、市民の身体的精神的な健康増進に寄与するため市が行うべきである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	これまでの管理運営実績を活かし、施設の安全確保や効率的な管理運営を更に進め、利用者のニーズに対応したサービスの向上や利用拡大に努める。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	廃止した場合、遊具の点検や除草・剪定等がなされず安心・安全・快適に利用できない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 都市公園である丸岡公園の管理事業であるために類似の事業はない。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理料については、価格点を含めた総合的な基準で選定を行っているため、一定の削減は、図られている。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理者の選定手続き、打合せ、協定書の締結などを行っているが、指定管理者の適正な施設管理を確保するために、最低限必要な業務である。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業は全ての公園利用者に還元されており、公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	公園施設長寿命化計画に基づく施設の定期的な点検、調査を行い、今後行わなければならない改築・改修をより効率的に実施できるよう、計画を立案する。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	公園長寿命化計画に基づく施設の改築・改修を実施し、安全性を向上させる。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2)総評								

事務事業 コード	0108050401010604	事務 事業名	丸岡公園管理事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
5	災害補償費			
7	賃金			
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費	0	570	500
	消耗品費			
	燃料費			
	食糧費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料		570	500
	賄材料費			
	飼料費			
	医薬材料費			
12	役員費	0	0	0
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料			
	保険料			
13	委託料	10,790	10,613	12,113
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費			1,000
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費		0	
19	負担金補助及び交付金			
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利息及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
計		10,790	11,183	13,613
財源内訳	特定財源			
	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
	一般財源	10,790	11,183	13,613
計		10,790	11,183	13,613
補助率	国			
	県			
補助基本額				

平成26年度補正・流用状況

当初予算	10,610
補正予算	0
流用・充用	180
予算合計	10,790

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
合計		0

1. 基本情報						
事務事業コード	0108050401010606	事務事業名	公園改修事業	担当部	建設部	
				担当課	建設施設管理課	
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり		グループ	公園管理グループ	
施策名	01	生活基盤の充実		電話番号	45-5111	
基本事業名	06	公園・広場等の整備		内線番号	2891	
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H18 年度～)		
	款	08 土木費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)		
	項	05 都市計画費		根拠法令・条例等		
	目	04 公園費				
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市公園施設長寿命化計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

公園の老朽化してきた施設の改修や更新、又は新設により利用者の憩いの場所として、安全で快適な公園として環境を整えるものである。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 改修等を調査・実施した施設数	施設	5	5	8	10	10
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 公園利用者							
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 安心・安全・快適に利用できる							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 憩いと交流の場が確保される							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

公園利用者アンケートにより、トイレの水洗浄化、洋式への改修や遊具施設の更新、増設等の意見が寄せられている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
事業費	投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	14,001
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	13,809	51,482	5,800	18,501
		事業費	千円	0	13,809	51,482	5,800	32,502

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
1. 丸山公園スロープカー設備修繕 2,376,000円 2. 丸岡公園便所改築(新築・給排水・既存撤去) 25,837,261円 3. 城山公園飛行機展示施設設置工事 1,084,000円 4. 城山公園展望台防火シャッター修繕 1,746,360円 5. 城山公園ゴーカート場カメラシステム修繕 1,130,760円 6. 城山公園ゴーカート場放送設備修繕 540,000円 7. 城山公園舗装改修工事(ゴーカート場) 14,162,739円 8. 嘉例川駅前公園園路改修 518,400円 9. 下井地区運動広場フェンス修繕 699,840円 10. 姫城地区コミュニティ広場防球ネット設置工事 3,325,000円	老朽化した施設の改修・修繕、新たな施設として飛行機展示施設設置など、利用しやすく安心・安全な公園を整備でき、市民の憩いの場としての機能が向上した。

事務事業コード	0108050401010606	事務事業名	公園改修事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
C 効率性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	補助対象外の事業であり、各公園の老朽化が進む中、改修すべき公園施設も多く、利用者の安全な公園利用を図るためには、削減余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	主に施設の修繕・改修を専門業者に依頼するための業務遂行を正規職員で行っているため削減余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)									
(1)事務事業の改革改善の方向性	【参考】前年度の改革改善の方向性<						継続		>
	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止	
	○	○							
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	霧島市公園施設長寿命化計画と整合性をとりながら、効果的に施設の改修等を行う。								
(3)平成28年度の方向性・取組目標	霧島市公園施設長寿命化計画に沿って、公園施設の老朽化対策や機能充実のため補助事業を導入していく。また緊急性等を考慮しながら公園利用者が常時安心して利用できる公園とする。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1)事務事業の改革改善方向性	【参考】前年度の改革改善の方向性<						継続		>
	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止	
(2)総評									

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0108000101020103	事務事業名	地方改善施設整備事業	担当部	建設部		
				担当課	建設施設管理課		
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり		グループ	道路維持グループ		
施策名	02	交通体系の充実		電話番号	45-5111		
基本事業名	01	道路ネットワークの構築及び道路施設の保全		内線番号	2761		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	08 土木費			根拠法令・条例等	道路法・道路法施行規則	
	項	02 道路橋梁費					
	目	01 道路橋梁維持費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市の市道・生活道路の狭小道路及び排水路等における、市民からの改修要望に対して、改善のための工事を行う事業。(交付金)
 主な業務内容は次のとおり。
 ①自治会や市民からの、まちづくり計画による狭小道路等の改修・改善要望の対応。
 ②要望箇所を確認し、優先順位をつけて事業路線を選定する。
 ③改修工事の設計委託、工事の発注。
 ④完成検査の実施
 ⑤工事個所の引受

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	道路補修工事、側溝整備工事等の箇所数	路線	1	2	0	1	1
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市民							
イ 市道							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 安全に通行でき、良好な状態に保たれる。							
イ 狭小道路が改修され移動がしやすくなる。							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 安全・快適に移動ができる							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

地区自治公民館から、まちづくり計画書により道路改良や道路拡幅などの要望がある。救急車輛の通れない狭小道路の改善について議会で質問がでている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	9,524	15,855	0	7,240	7,240
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	9,524	15,856	0	7,240	7,240
	事業費	千円	19,048	31,711	0	14,480	14,480

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組)	<取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果	<左記の実績(取組)による成果を記載>
平成26年度は事業なし		平成26年度は事業なし	

事務事業コード	0108020101020103	事務事業名	地方改善施設整備事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
C 効率性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	未整備の道路幅員狭小箇所は多く、住民からの改良等の要望も多いため、削減余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	高度な測量設計は業務委託を行い、事業遂行を正規職員で行っているので削減余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	国分下井地区の幅員狭小な集落道路の改善を図る。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	新規事業箇所については、地元要望やまちづくり計画書等により、緊急性や必要性を考慮しながら優先順位を決定し、狭小道路の改善を図っていく。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

事務事業 コード	0108020101020103	事務 事業名	地方改善施設整備事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
5	災害補償費			
7	賃金			
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費	0	280	280
	消耗品費	0	140	140
	燃料費	0	140	140
	食糧費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料			
	賄材料費			
	飼料費			
	医薬材料費			
12	役務費	0	0	0
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料			
	保険料			
13	委託料			
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費	0	14,000	14,000
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金			
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金	0	200	200
23	償還金利息及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
計		0	14,480	14,480
財源内訳	特定財源			
	国庫支出金	0	7,240	7,240
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
	一般財源	0	7,240	7,240
計		0	14,480	14,480
補助率				1/2
補助基本額				

平成26年度補正・流用状況

当初予算	27,551
補正予算	-18,551
補正第7号	-18,551
流用・充用	-9,000
予算合計	0

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
		0
合計		0

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報								
事務事業コード	0108010101020104	事務事業名	市道・橋梁台帳整備事業			担当部	建設部	
						担当課	建設施設管理課	
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり			グループ	道路管理グループ		
施策名	02	交通体系の充実			電話番号	45-5111		
基本事業名	01	道路ネットワークの構築及び道路施設の保全			内線番号	2765、2766		
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	08 土木費				根拠法令・条例等	道路法、道路法施行規則	
	項	01 土木管理費						
	目	01 土木総務費						
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市道の管理を行うために、市が管理する道路(市道)や橋梁の台帳(図面)を整備する。手順としては、市道や橋梁の認定・廃止・変更を行い、その後、台帳の補正を行う。台帳を整備することにより、市有地と民地の境界が明確になり、市道の全体像を把握し、機能確保を図れる。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 認定・変更・廃止路線数	本	39	25	17	20	20
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市道(認定・認定外)	市道延長	Km	1,630	1,630	1,630	1,632	1,634
イ 橋梁	橋梁数	橋	652	654	654	654	654
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 市道・橋梁の情報が管理できる	霧島市道路台帳再編計画達成度	%	100	100	100	100	100
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 安全・快適に移動ができる	改良率	%	47	47	47	50	50
イ 安全・快適に移動ができる	渋滞箇所数	箇所	9	9	9	8	7
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

新市になり、平成23年度において霧島市道の一括廃止、一括認定を完了したところである。また、平成24年度より道路地図情報システムを導入したことで、市道情報の共有化が可能となり、毎年度、台帳の補正を行っているところである。市民・議会等からの意見・要望は無い。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	13,115	11,508	12,760	16,405	16,405
	事業費	千円	13,115	11,508	12,760	16,405	16,405

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
道路台帳補正 2.344km(17路線) 橋梁台帳補正 164橋(国分・溝辺・牧園・霧島・隼人地区)	霧島市の道路台帳の整合性を保つため、前年度に道路改良等工事が完成し変更の生じた道路について道路台帳補正をかけた。また、橋梁台帳を作成するため、国分・溝辺・牧園・霧島・隼人地区の橋梁台帳を整備し、数値等を道路台帳・台帳図に反映した。 また、市道の廃止(1路線)及び認定(2路線)を行い、路線の区域変更及び供用開始を告示した。 道路台帳・橋梁台帳整備により市道の整備・維持の業務の効率化と市道に係る許認可申請に対する利便性・迅速性が向上した。また、交付税の基礎になる道路数値の整備が整った。

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0108000101020104	事務事業名	道路維持改良事業	担当部	建設部		
				担当課	建設施設管理課		
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり		グループ	道路維持グループ		
施策名	02	交通体系の充実		電話番号	45-5111		
基本事業名	01	道路ネットワークの構築及び道路施設の保全		内線番号	2761		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	08 土木費			根拠法令・条例等	道路法・道路法施行規則	
	項	02 道路橋梁費					
	目	01 道路橋梁維持費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市全域の市道の維持補修のため、補修工事を行う事業。
 主な業務内容は次のとおり。
 ①自治会や市民からの、市道の不具合箇所の改修・改善要望の対応。
 ②まちづくり計画等における、市道の不具合箇所の改修・改善要望の対応。
 ③要望箇所の確認。
 ④改修工事の設計委託、工事の発注。
 ⑤完成検査の実施
 ⑥工事箇所の引受

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	道路補修工事、側溝整備工事等の箇所数	路線	16	24	8	10	10
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市民							
イ 市道							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 安全に通行でき、良好な状態に保たれる							
イ 狭小道路の改修や、破損の激しい舗装や側溝などの補修を行う。							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 安全・快適に移動ができる							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

自治会や市民から狭小道路の改修、舗装の補修、側溝等の改修などの要望がある。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	169,851	156,351	0	0	0
	県支出金	千円	0	13,500	13,500	13,500	13,500
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	15,241	0	13,100	0	0
	一般財源	千円	220,793	217,594	58,709	26,900	26,900
	事業費	千円	405,885	387,445	85,309	40,400	40,400

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組)	(2) 平成26年度の成果
<取組内容を数値等により具体的に記載> 市道の舗装改修工事、側溝整備工事、視距改良工事などを実施した。 H26工事(単独) 8路線 水路工事・舗装工事	<左記の実績(取組)による成果を記載> 市道の舗装や側溝等の改修を実施し、市民生活及び車両通行等の安全を図れた。

事務事業コード	0108020101020104	事務事業名	道路維持改良事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	住民からの市道の改修の要望も多いため、削減余地はない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	高度な測量設計は業務委託を行い、事業遂行を正規職員で行っているので削減余地はない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2) 平成27年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	道路の維持管理において、現場は多種多様であり、現場に応じた維持管理を行っているため、一概にコストだけを意識して実施はできないが、設計の段階でできる限り安価なものを選定している。							
(3) 平成28年度の方向性・取組目標	道路の維持修繕を迅速に対応し、交通の安全を図る。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評								

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0108000101020105	事務事業名	道路維持管理事業	担当部	建設部		
				担当課	建設施設管理課		
政策名	01	快速で魅力あるまちづくり		グループ	道路維持グループ		
施策名	02	交通体系の充実		電話番号	45-5111		
基本事業名	01	道路ネットワークの構築及び道路施設の保全		内線番号	2761		
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 18 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)			
	款	08 土木費		根拠法令・条例等	道路法(第16条)		
	項	02 道路橋梁費					
	目	01 道路橋梁維持費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市全域の市道の維持管理のため、清掃や修繕・改修を行う事業。主な業務内容は次のとおり。
 ①市道の陥没や側溝閉塞(落ち葉などで水路がつかまること)、雑草等により見通しの悪い箇所などを通常巡回や、利用者からの通報により把握
 ②現場状況確認
 ③実施要否判断
 ④関係機関と協議
 ⑤修繕や改修工事・委託の発注
 ⑥工事委託終了後の検査
 ※日常的に住民が使用する生活道路については、清掃等を周辺地域の自治会に協働で行ってもらっている。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 道路補修・側溝修繕箇所数	箇所	607	496	448	700	700
イ 草刈り延長	Km	771	754	766	790	790
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市道利用者及び周辺住民	人口	人	127,475	127,283	126,842	129,360	129,679
イ 霧島市内の市道	市内の市道延長	Km	1,606	1,606	1,606	1,606	1,606
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 安全に通行できる	対応率(修繕対象箇所数/改修が必要と判断された箇所数)	%	82	91	91	93	95
イ 良好な状態に保たれる	対応率(修繕対象箇所数/改修が必要と判断された箇所数)	%	82	91	91	93	95
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 安全・快適に移動ができる	道路に関する苦情件数	件	1,389	1,477	2,201	1,290	1,290
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和27年の道路法の改定により、市道の整備と維持管理が市町村の義務となった。市道の老朽化、舗装の劣化、側溝等の不具合が多く発生している。また、高齢化に伴い、地域住民で行っていた草刈りができない地域が増え、市で対応してほしいとの要望も年々増加している。市道の維持修繕は道路利用者だけでなく、地域住民にも多大な影響があるために、早急な対応が求められている。
 住民からの苦情や要望の内容は、「草刈り」「側溝改修」「道路舗装の補修」が多い。
 平成21年9月議会で、「中山間地域では高齢化が進み自治会で草刈りなどの管理が困難になっているが、今後どのように考えるか」の質問がなされた。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	236,237	248,605	257,140	279,166	279,166
	事業費	千円	236,237	248,605	257,140	279,166	279,166

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
道路補修・側溝修繕を448件実施した。(国分地区が185件、単人地区が85件、溝辺地区が38件、横川地区が33件、牧園地区が47件、霧島地区が38件、福山地区が22件)また、その内、まちづくり計画にある要望も97件実施した。 ・道路維持管理・高所木伐採を12件実施した。(国分地区が6件、牧園地区が3件、霧島地区が3件) ・草刈りを業務委託で766km実施した。 ・月曜日にパトロールを実施し、道路の不具合箇所を発見してもらった。	市道等における市民からの要望・苦情に対して、道路補修・側溝修繕、草刈り等を実施し、要望・苦情を解消し、市民の安全な通行を図ることができた。

事務事業コード	0108020101020105	事務事業名	道路維持管理事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市道利用者及び周辺住民が安全に通行できることや、霧島市内の市道が良好な状態に保たれることは、安全・快適に移動ができることに結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道の維持管理は道路法に基づき管理者である市の責務であり、市道の安全を確保するという点から妥当である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	道路の劣化により年々修繕の箇所が増え、高齢化により市道の草払いの要望も増えている。また、修繕料や草払い委託料の経費の確保も難しく、現状としては、修繕による改善や草払いの作業延長を伸ばすことは難しい状況である。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	市民の最も身近な生活道路である市道の維持管理を廃止・休止することは、円滑な車輛通行の妨げとなり、事故の誘発を招く。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市道の劣化が進む中、道路の補修や、地域の高齢化による草払いの要望が年々増加している。このような状況では、事業費の削減余地はない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	現在は、草払いや修繕については、委託や請負により、市道の維持管理を継続的に行っている。職員は、住民からの苦情・要望処理や現場での状況判断、また、専門的知識を要する工法検討など対応する業務が多く、人件費を削減する余地はない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	住民からの苦情・要望は地域によって偏りはあるが、市民の生活道路である市道の維持管理は、パトロールなども含めて要否を判断しているため、公平性は保たれている。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善・連携 >						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 平成27年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	道路の舗装修繕や側溝清掃、草払い等、市民要望に対応するため、緊急性のあるものについては、早急に対応していく。また、維持補修業務の取組みを組織的に協議し、今後も業者委託以外のものについては、職員や作業員、地域ボランティア活動等と連携を取りながら対応していく。							
(3) 平成28年度の方向性・取組目標	市道のパトロール強化に努め、危険箇所等を早期発見し、災害や事故等の未然防止を図る。道路の安全を確保することは、市民生活に直結しており、必要不可欠な事業であることから、今後も増加していく要望等に適切に対応していく。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評								

1. 基本情報								
事務事業コード	0108000101020106	事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業			担当部	建設部	
						担当課	建設施設管理課	
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり			グループ	道路維持第1グループ		
施策名	02	交通体系の充実			電話番号	45-5111		
基本事業名	01	道路ネットワークの構築及び道路施設の保全			内線番号	2761		
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H21 ~)		
	款	08 土木費				根拠法令・条例等	道路法 第42条第1項	
	項	02 道路橋梁費						
	目	01 道路橋梁維持費						
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価		関連計画	霧島市橋梁長寿命化修繕計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

高度経済成長期に架設された大量の橋梁が、一斉に老朽化し橋の寿命が近づきつつあることにより事業を開始した。長寿命化修繕計画に基づき計画的かつ予防的管理を行い、橋梁の長寿命化を図る。その結果、橋梁が一斉に劣化・損傷することが回避でき、安心安全な交通の確保と橋梁に係る長期的な費用の縮減を図る。
 全橋の概略点検実施→詳細点検→長寿命化計画書作成→長寿命化計画に沿って事業(補修工事)申請→事業(補修工事)実施→完了

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 修繕工事完了の橋梁数	橋	1	3	5	7	10
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市民							
イ 霧島市が管理する道路橋梁							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 安全に通行でき、良好な状態に保たれる。							
イ 計画的で予防的な管理を行うことにより、橋梁を長寿命化する							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 安全・快適に移動ができる							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成19年第3回(9月)定例会市議会において市議より、橋梁の点検管理に係る一般質問が行われるなど、市民の関心が高まっている。
 質問内容は、橋長15m以上の道路橋の数や耐用年数、点検・管理状況に関するものであった。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	13,459	66,599	77,776	85,635	85,635
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	22,467	0	3,785	69,600	69,600
		一般財源	千円	14,995	54,492	59,851	465	465
		事業費	千円	50,921	121,091	141,412	155,700	155,700
投入量								

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
橋梁補修工事と設計委託を実施した。 ①工事完了 今村橋・久保田橋・現王橋・向川原橋・渡瀬橋 ②設計完了 向川原橋・渡瀬橋・豊後迫橋・俵渡橋・上川床橋・下原橋・別府橋・黒橋・上川内第二橋	橋梁長寿命化修繕計画に基づき設計委託と修繕工事を実施し、今村橋・久保田橋・神王橋・向川原橋・渡瀬橋の長寿命化が図られ、安全に通行できるようになった。

事務事業コード	0108020101020106	事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	橋梁の健全度調査に基づく「橋梁長寿命化修繕計画」により実施している。補修の必要な橋梁数も多く、早急な対応が求められているので、削減の余地はない。交付金事業として事業の実施中である。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	専門性の高い調査や補修計画は業務委託を行い、事業遂行は正規職員で行っているので削減余地はない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)									
(1)事務事業の改革改善の方向性	【参考】前年度の改革改善の方向性<						継続		>
	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止	
	○	○							
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	橋梁修繕の設計時における工法検討を可能な限り実施し、安価で最適な工法を選定して、補修工事の早急な対応を行っていく。								
(3)平成28年度の方向性・取組目標	橋梁点検(5年に1回)を実施する。点検結果に基づき、緊急性や利用頻度等を考慮して修繕対象橋梁を選定する。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1)事務事業の改革改善方向性	【参考】前年度の改革改善の方向性<						継続		>
	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止	
(2)総評									

事務事業 コード	0108020101020106	事務 事業名	橋梁長寿命化修繕事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
5	災害補償費			
7	賃金			
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費	0	0	0
	消耗品費			
	燃料費			
	食糧費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料			
	賄材料費			
	飼料費			
	医薬材料費			
12	役務費	0	0	0
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料			
	保険料			
13	委託料	33,008	62,700	62,700
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費	108,404	93,000	93,000
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金			
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利息及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
計		141,412	155,700	155,700
財源内訳	特定財源			
	国庫支出金	77,776	85,635	85,635
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	3,785	69,600	69,600
一般財源	59,851	465	465	
計		141,412	155,700	155,700
補助率	国	55/100		55/100
	県			
補助基本額		141,412		

平成26年度補正・流用状況

当初予算	133,000
補正予算	-420
補正第7号	-420
流用・充用	422
予算合計	133,002

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
国庫支出金	社会資本整備総合交付金	77,776
その他	繰越金	3,785
合計		81,561

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0108000101020107	事務事業名	道路アダプト制度事業	担当部	建設部	
				担当課	建設施設管理課	
政策名	01	快速で魅力あるまちづくり		グループ	道路維持第1グループ	
施策名	02	交通体系の充実		電話番号	45-5111	
基本事業名	01	道路ネットワークの構築及び道路施設の保全		内線番号	2761	
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 24 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	08 土木費		根拠法令・条例等	特になし	
	項	02 道路橋梁費				
	目	01 道路橋梁維持費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

道路アダプト制度実施要綱により、市民団体・事業者団体などを募集し、応募した団体が霧島市内の市道及び国道の主要幹線道路で延長400m以上の道路敷地を、(1)年2回以上の道路の草払い(2)道路の清掃(ホイ捨てゴミ等の収集・処分)(3)道路の破損等の情報提供の活動を行う。事業費については、道路保全(草払い)区間に応じて、1団体につき30,000円～50,000円を限度に活動支援金を交付する。また、アダプトの道路区域には、アダプトサイン(看板)を設置する。これにより道路の環境及び機能の維持向上を図る。

※道路アダプト制度
 目的:道路の環境保全及びその機能の向上を図るため、美化活動を行う市民活動団体等と市が共に協力し、支え合う共生・協働による快適で美しいまちづくりを推進する。

対象となる団体:市内の企業等の法人又は5人以上で構成する地区自治公民館、自治会、老人クラブ、PTAその他活動の継続性が保たれる市民活動団体。
 対象となる道路:市道は、市が定めた道路(主要幹線道路)、国道・県道は市と協議がなされた道路で実施。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 道路アダプト制度の実施により、参加団体を募って、道路の草払い、清掃等を実施する	団体	25	45	46	60	74
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市民団体及び事業者団体	市民団体及び事業者団体数	団体	100	100	100	100	100
イ 霧島市内の市道・国道の主要幹線道路	指定道路及び指定区間延長	Km	90	90	90	90	90
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア アダプト制度登録団体数を増やす	この事業により道路環境保全に取り組む市民団体・事業者団体数(累積)	団体	25	45	46	60	74
イ 草払い・清掃活動等が行われる	アダプトによる道路の草払い延長(累積)	Km	27	52	47	55	63
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 安全・快適に移動ができる	道路に関する苦情件数	件	1,389	1,477	2,201	1,290	1,290
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

道路の環境及びその機能を維持するため、市民の要望などに基づき草払いを実施しているが、その草払いが、地区市民の高齢化などにより実施できない路線が増えている状況である。この状況を少しでも緩和するために、道路アダプト制度を平成24年度から始めている。

市民からの問い合わせや意見として、アダプト制度を霧島市が指定した路線以外でもできるようにしてほしいとの意見もあるので、路線の見直しを実施し、アダプト対応路線を増やしていきたい。また、外部評価委員会からも、作業中の事故防止のための安全指導や研修等を徹底し、地域における共生協働の意識向上を図りながら、成果向上を目指してほしいとの意見もある。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	1,191	2,060	2,074	2,194
		事業費	千円	1,191	2,060	2,074	2,194

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> **(2) 平成26年度の成果** <左記の実績(取組)による成果を記載>

平成26年度で新規登録団体として5団体を追加登録し、また脱退団体が4団体の合計46団体による草払い・清掃等実施延長が47kmであった。道路環境及び道路機能の維持向上が図られ、安全で快適に移動できるようになった。

事務事業コード	0108020101020107	事務事業名	道路アダプト制度事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	道路アダプト制度を制定し、市民・事業者・行政が一体となり、市内の主要幹線道路の環境及び機能の維持向上を図ることで、通行車両や利用者が安全・快適に移動できる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	道路の維持管理を図ることは、道路管理者である市の責務である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	道路アダプト制度の普及を図ることにより、成果指標が向上できる。本市に適したアダプト制度が、市民・事業者・行政が一体となった取り組みが今後も普及し、成果向上に繋がる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	アダプト制度を廃止・休止することは、道路の通行に支障をきたし、美観景観が損なわれる道路が増える。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等 河川景観保全アダプト(里親)制度推進事業
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	使用機材の燃料費等の活動に不可欠な最低限の費用であるので削減できない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	職員の人件費については、補助金交付に係る事務で削減余地はない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	公共施設である道路の環境及び機能維持活動であり、一部の受益者に偏っておらず公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN>(組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< 継続・やり方改善 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○	○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	引続き、自治会等を中心とした登録団体加入を斡旋するとともに、企業等の民間会社へ参加依頼をするなど、登録団体の加入増を図り、道路の環境美化や機能を維持していく。							
(3)平成28年度の方角性・取組目標	引続き、道路アダプト登録団体増を図るとともに、既存登録団体の登録期間更新を依頼し、継続したアダプト制度の充実を図る。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1)事務事業の改革改善方向性									
(2)総評									

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0108000101020108	事務事業名	道路施設防災安全対策事業	担当部	建設部		
				担当課	建設施設管理課		
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり			グループ		
施策名	02	交通体系の充実			電話番号		
基本事業名	01	道路ネットワークの構築及び道路施設の保全			内線番号		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	08 土木費			根拠法令・条例等	道路法・道路法施行規則	
	項	02 道路橋梁費					
	目	01 道路橋梁維持費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

道路施設の計画的な修繕・更新による老朽化対策と、自然災害に対する事前防災・減災対策を行うことにより、地域道路網の安全性・信頼性を向上するとともに、地域の課題に応じた交通安全対策を多角的に実施することにより、安心安全な道路交通環境を構築する。
 道路の老朽化対策及び事前防災・減災対策 (舗装修繕事業・道路法面事業)
 通学路の安全確保 (水路蓋掛け事業)

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 事業完了箇所数	箇所			2	4	6
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 道路利用者							
イ 霧島市内の市道							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 安心安全な道路環境を構築する							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 安全・快適に移動ができる							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

道路法 (昭和27年法律第180号) 第56条の規定により、地域住民の日常生活の安全性若しくは利便性の向上を図るうえで、施策上特に整備が必要であると認められる市町村道においては、国庫補助を受けての事業が可能となった。老朽化に伴う舗装修繕や通学路の安全確保等、日常生活を営むうえで多大な影響があることから、市民からも早急な対応が求められている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円			77,907	67,100	67,100
	県支出金	千円			0	0	0
	地方債	千円			0	0	0
	その他	千円			0	54,700	54,700
	一般財源	千円			63,752	200	200
	事業費	千円	0	0	141,659	122,000	122,000
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績 (取組) による成果を記載>
(舗装修繕事業) 国分地区郡田線 横川地区旭町線	老朽化に伴い舗装劣化の著しい2路線を整備したことにより、利用者の安心安全な道路交通環境を確保できた。

事務事業コード	0108020101020108	事務事業名	道路施設防災安全対策事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
C 効率性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	年々増加する老朽化に伴う市道の舗装劣化や、市民から求められる交通安全対策に対応していく事業であることから、事業費の削減余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
C 効率性	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	専門的な知識を要する業務であることから、人件費は削減できない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)								
【参考】前年度の改革改善の方向性 <>								
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2)平成27年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	事業箇所、劣化状況や交通状況等が異なることから、測量設計においては、現場に合わせた最適な工法を検討していく。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	道路ストック総点検を引続き実施していく。 点検結果に基づき、緊急性や交通状況等を考慮して修繕対象道路を選定していく。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

1. 基本情報							
事務事業コード	0111000101040702	事務事業名	道路施設災害復旧事業	担当部	建設部		
				担当課	建設施設管理課		
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり		グループ			
施策名	04	防災対策の推進		電話番号			
基本事業名	07	災害復旧対策の推進		内線番号			
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 26 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	11 災害復旧費			根拠法令・条例等		
	項	02 公共土木施設災害復旧費					
	目	01 土木施設災害復旧費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

台風や豪雨等の異常な自然現象により被災した、霧島市が管理する市道及び市道橋の土木施設復旧を図る。
 (市道)
 霧島市内全域 2,423路線 L=1,606.3km
 (市道橋)
 霧島市内全域 651橋

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 公共災害復旧箇所数(道路・橋梁)	箇所			7	7	7
イ 単独災害復旧箇所数(道路・橋梁)	箇所			16	16	16
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 被災箇所(市内全域)							
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 災害から市民の安全を守る							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 被災箇所が復旧される							
イ 日常的な生活を送ることができる							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

近年の気象状況の変化に伴い、局部的な豪雨等による災害が発生している。被災箇所においては、市民からの早急な復旧が望まれている。

4. 事業費の推移

投入量	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円		10,784	12,106	12,106
	県支出金	千円		0	0	0
	地方債	千円		12,900	15,800	15,800
	その他	千円		0	0	0
	一般財源	千円		55,374	22,094	22,094
	事業費	千円	0	0	79,058	50,000

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【公共災害】 道路災害 7箇所 【単独災害】 道路災害 16箇所	被災箇所の早急な復旧により二次災害が防止され、市民生活の安全が図られた。

事務事業コード	0111020101040702	事務事業名	道路施設災害復旧事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	災害復旧事業は、災害査定による原型復旧が原則であることから、事業費の削減はできない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	工事事務や現場管理等は、専門的な知識を要する業務であることから人件費の削減はできない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○	○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	公共土木施設災害の軽減や、被災を未然に防止するために、定期的なバトロールや早期修繕等による適切な維持管理を行っていく。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	引続き、公共施設の被災箇所を原形復旧していくことで、市民生活の安全を図っていく。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0111000101040703	事務事業名	公園施設災害復旧事業	担当部	建設部	
				担当課	建設施設管理課	
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり		グループ	公園管理グループ	
施策名	04	防災対策の推進		電話番号	45-5111	
基本事業名	07	災害復旧対策の推進		内線番号		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	■ 単年度のみ	
	款	11 災害復旧費			<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度	
	項	02 公共土木施設災害復旧費			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	01 土木施設災害復旧費			根拠法令・条例等	
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

平成26年6月27日と平成26年8月5日の豪雨により被災を受けた城山公園の法面の復旧を行う。
被災合計 L=12m(1工区L=7m 2工区L=5m)

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 復旧した公園箇所	箇所			1		
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市が管理している公園							
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 災害から市民の安全を守る							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 被災箇所が復旧される							
イ 日常的な生活を送ることができる							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

近年の気象状況の変化に伴い、局所的な豪雨による災害が発生している。
平成26年9月議会補正

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円			0	0	0
	県支出金	千円			0	0	0
	地方債	千円			1,000	0	0
	その他	千円			0	0	0
	一般財源	千円			48	0	0
	事業費	千円	0	0	1,048	0	0
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
城山公園の災害復旧 L=12m 復旧事業費 1,047,600円	災害箇所の復旧により安心して公園が利用できるようになった。

